

～たばこは出火原因第1位～

名古屋市中区では、過去10年（平成27年～令和6年）の間、**155件**のたばこ火災が発生しています（出火原因第1位）。たばこ火災のうち、いわゆる“**ポイ捨て**”による火災は87件（56.1%）となっており、繁華街の道路上で多く発生しています。

出火原因	件数
たばこ	155
こんろ	109
放火(疑い含む)	68
電気器具類	58
その他	130

中区内過去10年火災(原因別)

ポイ捨て **87**

不始末等 68

たばこ火災…紙たばこを発火源とする火災（加熱式、電子は除く）
ポイ捨て…何者かによって消火不十分のまま、投げ捨てられたもの
不始末等…特定の者が消火不十分のまま、ゴミ箱等に吸い殻を捨てた（不始末）または寝たばこ

豆知識

～塵も積もれば火事のもと～

実測では、たばこの表面温度が200～300℃、中心部で700～800℃、吸引時にはさらに**約900℃**に達することが示されています。見た目に赤みが消えても、内部に高温の炭化層(くすぶり)が残りやすいのが特徴です。

→このため「見た目で消えた」と判断しても、可燃物に接触すると局所的に加熱・熱分解（発火準備）を進め、後から火が出る可能性があります。

たばこの吸殻は「小さな火種の集まり」であり、消えていない火が複数集まると熱がこもって再燃しやすくなります。

